

速報 平成23年度

普通会計財務書類4表

(総務省方式改訂モデル)についてお知らせします。

平成23年度の普通会計財務書類4表(①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書)は、次のとおりとなりました。
これらの財務書類によって、従来の決算書などでは把握できなかったストックの情報(例えば、これまでに蓄積された資産)や現金支出が伴わない行政コスト(例えば、建物の減価償却費)などを把握できるようになり、より詳しい財政分析ができるようになります。
なお、他団体との比較については、各団体の数値が公表され次第、お知らせします。

財政課・内線268

貸借対照表

貸借対照表とは、市が行政サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源により取得してきたかを示す財務書類のことです。

Table with 4 columns: 資産の部 (これまで蓄積した資産), 負債の部 (将来支払うべき額), 金額, 金額. Rows include 公共資産, 有形固定資産, 売却可能資産, 投資等, 流動資産, 現金預金, etc.

行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、人的サービスや給付サービスなどの資産形成につながらない行政サービスにかかった経費と、その行政サービスに対して得られた収入(使用料など)とを対比した財務書類のことです。

Table with 2 columns: 経常行政コスト, 経常収益. Rows include 人にかかるコスト, 物にかかるコスト, 移転支的コスト, etc.

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、市の純資産(資産から負債を差し引いた額)が平成23年度中にどのように変動したかを示す財務書類のことです。

Table with 2 columns: 期首純資産残高, 当期変動額, 純経常行政コスト, etc.

資金収支計算書

資金収支計算書とは、資金(歳計現金)の出入りの情報を3つの性質に分けて表示した財務書類のことです。

Table with 2 columns: 期首資金残高, 当期収支, 経常的収支, etc.

Q 財務書類からどのようなことがわかりますか?

A 例えば、以下のようなことがわかります。

- ①市民1人あたりの資産と負債
②市民1人あたりにかかる行政サービス費用
③社会資本の整備に対する世代別負担率
④資産形成以外の行政サービス費用の受益者負担率

平成25年成人式

日時 平成25年1月14日(祝)
午前10時～10時30分
午後10時30分～11時
会場 けやきプラザふれあいホール
対象者 平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの市内在住の方

人権擁護委員による無料相談をご利用ください

人権擁護委員は、市民の中から市長が推薦し、法務大臣が委嘱する民間のボランティアで、人権相談や人権尊重のための啓発活動などを行っています。
相談日時: 毎月第4木曜日午前10時～午後3時(12月は第1月曜日)
場所: 市役所西別館2階相談室

雨水貯留タンクの設置費用を補助しています

雨水貯留タンクは、雨水を一時貯留することで流出を抑え、浸水の被害を軽減する効果のある施設です。
補助金の額: 雨水貯留タンクの設置費用(10000円未満切り捨て)を上限額とし、3万円、2基以上の場合は5万円を限度額とします。

